

栗原市教育研究センター通信

第5号 平成28年6月発行

こんにちは。栗原市教育研究センターです。

今回は、6月1日に開催した第1回外国語活動・英語研修会の様子をお知らせします。

「『Hi, friends!』を効果的に活用した授業づくり」と題した研修会には、登米市立浅水小学校の佐藤真紀先生を講師としてお迎えし、小学校から13名、中学校から2名の先生方が参加しました。

佐藤先生には、『Hi, friends!』の授業の進め方、デジタル教材の使い方、評価の在り方、授業で使える補助教材、今後の小学校外国語教育の方向等、多岐にわたって、お話をさせていただきました。講話の概略は、以下のとおりです。

1 年間指導計画等は文部科学省のホームページから

『Hi, friends!』の年間指導計画や指導略案等は、文部科学省のホームページにあるものを活用するとよい。場合によっては自校化するとよいでしょう。

2 『Hi, friends!』のデジタル教材を活用しよう！

学校に配布されているデジタル教材（DVD）には、英文の発音、単語カードやワークシートなどが収められています。また、発音のスピードを変えたり、絵のカードを裏返しにしたりなどの、様々な機能が使えるようになっています。それらを授業で活用しましょう。

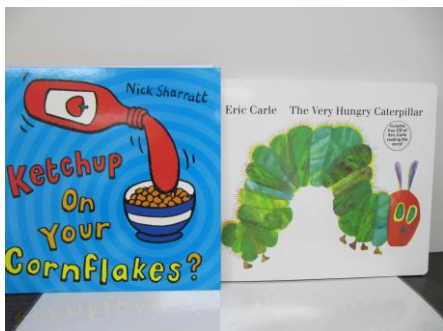
3 T1として授業を進めよう！

「英語が得意ではないので、教える自信がない」という小学校の先生がいます。しかし、児童をよく理解している担任の先生が、外国語活動の指導を行うことの意義は大きいのです。ALT任せにしないでください。授業の主導は日本人（担任等）であり、ALTはあくまでも補助役（アシスタント）です。担任の先生は、T1として肩肘を張らずに授業を進めていきましょう。

4 授業で活用できる補助教材は

教材のひとつに絵本があります。例えば、『Hi, friends!1』のLesson4、「I like apples.」の学習で、「Ketchup on Your Cornflakes?」を使うと、授業が盛り上がります。その他には、「The very Hungry Caterpillar（はらぺこあおむし）」など、たくさんあります。また、100円ショップで買える、「国旗カード」なども指導に有効です。

それらを使って、楽しく授業を進めてみましょう。



（写真 左から）
「Ketchup on Your Cornflakes?」
「The very Hungry Caterpillar」
「Dear Zoo」
「A Beautiful Butterfly」

5 今、取り組むべきことは

文部科学省教科調査官の直山木綿子先生の講演会が、今年2月に仙台市で行われました。その中で、外国語活動の充実のために、各教員、各学校に求められることとして、次の5点について話がありました。

(1) 児童と英語を使ってやりとりをする

外国語活動に求められることは、児童が外国語を使ってコミュニケーションを図ることです。指導者は、英語を使って児童とやりとりをすることが大切です。また、日本語を減らしてみることです。

(2) コミュニケーション活動を工夫する

児童の実態に合わせて、活動を工夫することが大切です。できるだけ児童が自分で言葉を選択（自己表現）できるようにしてみるとよいでしょう。

(3) 一単元を見通して授業をつくる

単元のゴールとそこまでの流れを児童と共有しておくことが大切です。

(4) 「チーム学校」として取り組む

管理職のリーダーシップのもと、学校として外国語教育に取り組むことが大切です。担当教員にだけ任せきりにしないことです。

(5) 同一中学校区内の小学校と連携を図る

小学校同士で、移行期の進め方を相談しておくこと、また、中学校ともその取組について共有を図ることが大切です。

参加した先生方の感想（一部抜粋）

- 担任がT1としてやらなければならないことに対して、とても身構えていたが、少しだけ自信もつきましたし、がんばれそうだなと感じました。
- 「T1が主導権を握る。英語を話すのはALTの役目」という話を聞き、正直ほっとした。
- 自分も外国語の授業を楽しめそうな気がしました。自分も積極的に英語を使って授業をしたいと思います。
- デジタル教材の機能に驚きました。ICT活用の参考にもなりました。小中連携の必要性を理解することができました。

[お知らせ]

第2回外国語活動・英語研修会は、8月19日（金）午後2時から開催する予定です。研修内容は、「中学校英語科の授業づくり（案）」です。この研修会の参加者は、各中学校の英語教員1名以上を悉皆とし、小学校教員の希望者とします。詳細につきましては、後日お知らせします。皆様のご参加をお待ちしております。

発行責任者
栗原市教育研究センター
所長 原 吉宏
栗原市金成沢辺西大寺1-5
TEL/FAX 42-1157
教育相談専用電話 42-1230